

<p>第三セクター 改革プラン</p>	<p>①岩木振興公社が岩木山周辺の観光振興の中心的な役割を果たし、地域観光振興に寄与する公益事業等を積極的に展開していくため市との協力体制を強化していく。</p>
<p>取組事項</p>	<p>「弘前感交劇場」推進の施策と連携して、新たな視点からの商品開発などの提案や、財団が行う地域観光振興に寄与する公益事業等への応援体制を構築していく。 (実施年度) 平成 22 年度～平成 24 年度</p>
<p>これまでの 取組状況</p>	<p>平成 22・23 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市から観光関連情報の提供を行った。 ・弘前感交劇場やわかネットへ関連情報の収集・提案を依頼した。
	<p>平成 24 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集については市以外からのものを含め継続し、市として提供できる情報は随時提供している。
	<p>平成 25 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集については市以外からのものを含め継続したほか、旅行エージェントからの情報や各種イベントの情報などを随時提供している。
<p>取組に対する評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 取り組むことができた ② おおむね取り組むことができた 3 取り組むことができなかった
<p>総括</p>	<p>旅行エージェントからの情報や各種イベントの情報などは随時提供してきたが、商品開発などの提案や、公益事業等を積極的に展開していくための協力体制の構築は進めることができなかった。</p>

弘前市第三セクター改革プランの総括
 一般財団法人岩木振興公社

<p>第三セクター 改革プラン</p>	<p>②スキー場運営について、岩木振興公社と協力しながら経営健全化計画を達成するための経費削減策や収益増収策を検討・実施していくとともに、スキー場関連施設等の通年利活用策を検討していく。</p>
<p>取組事項</p>	<p>岩木山百沢スキー場、そうまロマントピアスキー場及び岩木山総合公園の指定管理者として、3施設の一体的な管理運営による経費削減策や収益増収策の実施と、通年利活用が図れるイベント開催などを検討していく。 (実施年度) 平成 22 年度～平成 25 年度</p>
<p>これまでの 取組状況</p>	<p>平成 22・23 年度 ・家族、子供を対象としたイベント等の開催や、グリーンシーズンの利活用策を検討した。 ・岩木・そうま両スキー場の決算・経営状況を分析し、経費削減策の検討を始めた。</p>
	<p>平成 24 年度 ・岩木観光施設事業経営健全化計画の実施状況を確認しながら、社会体育施設あり方等検討市民懇談会の提言を踏まえて決定された市の方針を達成するための取り組みを進めることとした。</p>
	<p>平成 25 年度 ・岩木観光施設事業経営健全化計画の実施状況を確認しながら、平成 27 年度での資金不足解消を目指し、社会体育施設への移行について検討した。</p>
<p>取組に対する評価</p>	<p>1 取り組むことができた ② おおむね取り組むことができた 3 取り組むことができなかった</p>
<p>総括</p>	<p>スキー場運営について、岩木振興公社との協議を重ね、連携を強化しながら経営健全化計画を達成するための経費削減策や収益増収策を検討・実施し、おおむね計画どおりに進めることができた。しかし、スキー場関連施設等の通年利活用については、グレンデ部分のグリーンシーズンを含めた活用策の検討は進めることができなかった。</p>

弘前市第三セクター改革プランの総括
一般財団法人岩木振興公社

<p>第三セクター 改革プラン</p>	<p>③公益法人改革による財団の位置づけや方向性を考慮しながら、長期的な事業運営のための施設等の取扱いや維持修繕費用の負担方法を検討していく。</p>
<p>取組事項</p>	<p>施設の修繕・改修等の費用の負担方法や、長期的事業運営に係る施設等の位置づけ等を、岩木振興公社と綿密な協議を行ったうえで、市としての方針を打ち出す。 (実施年度) 平成 22 年度～平成 23 年度</p>
<p>これまでの 取組状況</p>	<p>平成 22・23 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕、改修等費用の負担方法を検討した。
	<p>平成 24 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き施設の修繕、改修等費用の負担方法を検討した。 指定管理期間の見直しなど、長期的事業運営に対応する方策を検討している。
	<p>平成 25 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 公益法人改革により一般財団法人へ移行した。 引き続き施設の修繕、改修等費用の負担方法を検討した。 指定管理期間の見直しを行い、施設の所有と設備投資等の関係の整理について協議した。
<p>取組に対する評価</p>	<p>1 取り組むことができた 2 おおむね取り組むことができた ③ 取り組むことができなかった</p>
<p>総括</p>	<p>公益財団法人改革により、財団法人から一般財団法人へ移行したが、法人の目的や事業内容は踏襲され、位置づけもこれまでどおりとなっている。</p> <p>施設の修繕・改修等の費用の負担方法や、長期的事業運営に係る施設等の位置づけ等を、岩木振興公社と協議してきたが、施設整備に係る補助金の返還の問題など、様々な課題があり、市の方針を打ち出すまでには至らなかった。</p>

弘前市第三セクター改革プランの総括
一般財団法人岩木振興公社

<p>第三セクター 改革プラン</p>	<p>④「財団法人星と森のロマントピア・そうま」との連携や統合の検討を進める。</p>
<p>取組事項</p>	<p>「財団法人星と森のロマントピア・そうま」との連携を図るため、財団相互の職員派遣、職員研修及び情報交換（経営アドバイス）を進めていく。 （実施年度）平成22年度～平成24年度</p>
<p>これまでの 取組状況</p>	<p>平成22・23年度 ・岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス、協力体制等を準備・整備した。</p>
	<p>平成24年度 ・岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス等を行なえる体制をとっている。</p>
	<p>平成25年度 ・岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス等を行なえる体制をとっている。</p>
<p>取組に対する評価</p>	<p>1 取り組むことができた 2 おおむね取り組むことができた ③ 取り組むことができなかった</p>
<p>総括</p>	<p>岩木振興公社からロマントピアへの経営アドバイス等を行なえる体制をとったものの、地元関係者の意向等を確認しながら、両財団との協議には至らなかったため、「財団法人星と森のロマントピア・そうま」との連携を図ることを目的とした財団相互の職員派遣、職員研修及び情報交換（経営アドバイス）を進めることができなかった。</p>